

福井駅周辺地区交通戦略 第5回検討部会 議事録(要旨)

日 時:令和3年11月16日(火) 午前10:00~午前11:50

会 場:福井市総合ボランティアセンター研修室

出席者:福井駅周辺地区交通戦略検討部会

川本 義海 部会長(国立大学法人福井大学 学術研究院工学系部門 教授)

岩崎 正夫 委 員(まちづくり福井株式会社代表取締役社長)

加藤 幹夫 委 員(福井駅前五商店街連合活性化協議会長)

西森 直樹 委 員(福井市都市戦略部交通政策参事官兼交通安全参事官)

事務局:福井市都市戦略部都市整備課

// 地域交通課

// 自転車利用推進課

【議事内容】

○事務局より

新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用を呼びかけてから、川本部会長へ進行をお願いした。

○部会長

昨年からはまった検討部会での議論も、1年が過ぎ、これまでに4回の検討部会を開催してきた。今回は第5回目の検討部会になるが、いよいよ全体取りまとめの段階まで来た。本日も活発な御議論をお願いするとともに、進行に御協力願いたい。それでは、議事次第に沿って進める。

議事1. 地区交通戦略報告書(素案)ということで、前回に示した素案からの見直し箇所が主体とのことで、事務局から説明願う。

○事務局

事務局より資料に沿って説明

(別添資料を参照。なお、各委員へは『素案』の冊子も提示している。掲示は割愛する。)

○委員

浜町との連携や、現在まちづくり福井(株)が進めている足羽川河川敷の利用への波及について、意識はしていると思うが、図面等への表記など示したほうがいいと思う。

にぎわい軸からの人の流れ、熱気の拡散については、同感。ただ、歴史のみちに対する位置付けが弱いのではないかと感じたが。

評価指標について、市民意識調査で半数超の方に評価してもらいたいとする目標は理解できる。この戦略の目標に入れなくてもいいが、別の機会で、まちなか居住者を対象にしたアンケート調査などは実施してもらいたい。住む人の声は大事だと思う。また、住む人でも、旧くからの住民と、再開発マンション等新しい住民とでは視点が違うと思う。意見も異なると思う。これは検討していただきたい。

○事務局

浜町、足羽川河川敷、養浩館庭園と、この戦略で定義づけたまちなか区域の外側にある施設、区域との連携については認識している。素案本冊19.20ページの示すまちなかの将来像の図にも意識して表示している。

歴史のみちについても、素案本冊24ページの図面では御本丸大手町線部分だけを表示しているが、まちなかの将来像を示す素案本冊 19.20 ページの図面では、御本城橋から北の庄城址までの歴史のみちを軸として位置付けている。

まちなかに住む方に対するアンケート調査については、住民の声を聴くということは重要であり、この戦略の評価指標と都は別で、その実施については検討していく。

○部会長

まちなかに住まわれる方の意見を聴くことは重要だと思う。この戦略とは別で構わないので、アンケート調査などについて検討してもらいたい。

浜町などとの連携について。先ほどの委員の意見は、素案本冊 19.20 ページのまちなかの将来像の図面に連携を示す矢印の表示を追加したほうがいいという意見ではないか。

○事務局

表記については検討する。

○委員

戦略の進行管理ということで、毎年の進行状況の確認、問題点の整理等庁内で実施するとのことだが、都市交通戦略協議会とのかかわり方はどうなるのか。

○事務局

毎年度終了後に、その年度の実績、到達状況を確認し、問題点があれば、対応策の検討を行う。この対応策の素案がまとまれば、協議会へ諮り、議論を経て戦略の変更等を実施する。

協議会については、短期の終了後、中期の終了後、長期の終了後に開催することを予定しており、庁内では毎年度整理していた進捗状況について、期間中の動きを一括して報告する形を想定している。この時に併せて、戦略の変更案件等があれば協議会へ付議することになる。

内容によっては定期的な協議会の開催を待たず、臨時に召集することも含めて、状況に応じて戦略に反映できるような運用としている。

○委員

是非そのように進めていただきたい。施策の実施にあたっては、地元や関係機関との協議、連携を積極的に行ってもらいたい。

警察では、例えば自動運転など、「他都市で導入しているから」では、理解が得られないとも聞いている。ハードルが高いものもあると思うが、よく相談しながら進めてほしい。

○委員

公共交通も大事だが、向こう10年はまだまだクルマ社会が続く。まちなかでのクルマの利用、駐車場の利便性向上など、車に対する施策も取り組んでいただきたい。

商店街の会員から寄せられる意見は、やはり駐車場の利便性が最大の課題だという声が上がっている。先月実施した駅前感謝DAYでも、西武に近い駐車場を利用する方が大変多かった。

A街区再開発の駐車場300台とのことだが、建物床の規模に対して少なすぎやしないか、地元としては危惧している。

○事務局

まだまだ福井はクルマ社会であることから、車に対する施策をしないというわけではない。駐車場

の利便性向上に向けて取り組みを行っていく。

○委員

先月実施したふくみちの社会実験を終え、あらためて、まちなかの回遊性が重要だと思いを新たにしたところ。また、ふくみちについてもぜひ継続して実施したいと思っている。

素案本冊 24 ページの図面で、電車通りをにぎわい軸に位置付けているが、中央大通り北側についてもにぎわい軸とまではいかないが、駅から大手エリアを結ぶ軸に位置付けできないか。

先週末、ワンパークフェスティバルを開催した。来場者の2割強が県外からだったが現地を見ていて気付いたことだが、中央公園から堀端を通り、県庁線を抜けて駅へ直行していく方が多かった。こういう方の一部でも中央大通りを通ってもらうことで、人の流れが分散化されるのではないか。

○委員

B街区では、電車通り～中央大通りを見通せるような開口部分がある。向こうが見えるというのは、向こうへ行きたくなることにもつながると思う。となると、この開口部の延長に中央大通りを平面横断する、横断歩道が作れないかと考える。なかなか実現は難しいのだろうけど。

○事務局

中央大通りの平面横断については、課題が多く実現に向けてはハードルが高いのが実態。

○部会長

先ほどの委員の発言、素案本冊 24 ページの図面に、中央大通り北側の軸線表記をとの意見だったが、素案本冊 19.20 ページのまちなかの将来像の図面には軸線としてではないが、中央大通りと御本丸大手町線を点線で囲み、施策へ位置付けていることがうかがえる。新たに軸を増やすまではしなくてもよいと考えるがいかがか。(提起した委員含めて全委員が頷いたことで了承とした)

素案本冊 19.20 ページの図面で、電車通りの将来のイメージ写真として掲載している写真だが、出典では松山市となっているが、富山市ではないか。

素案本冊 16 ページの基本方針の①には、「安全、安心」のキーワードも追加したほうが良いと思う。

○事務局

写真の件は確認し、是正する。また、基本方針の件は検討する。

○部会長

各委員からいろいろ意見をいただいたが、他に意見はないか。それでは、地区交通戦略報告書(素案)についてはいったんここまでとする。

次に、地元意見交換会等の開催について(報告)に移りたい。事務局から説明願う。

○事務局

事務局より資料に沿って説明
(別添資料を参照)

○委員

ふくみち社会実験期間中、苦情等はあったか。

○事務局

通行に関しては、自転車も徐行する、あるいは押し歩きする等通行に際して配慮して下さった方が多かったこともあり、苦情等はなかった。

出店についても、沿道店舗の協力もいただきながら実施したこともあり、苦情はなかった。

意見交換でもいただいた通り、沿道だけでなく、エリアが盛り上がるように、今後の実施にあたっては留意したい。

○部会長

寄せられた意見については、戦略に反映できている意見が多く、市民の方の視点とズレていないことがわかった。

○部会長

他にご発言はないか。特にないようなので、地元意見交換会等の開催について(報告)についてはここまでとする。

それでは、今後のスケジュールについて、事務局から説明願う。

○事務局

事務局より資料に沿って説明
(別添資料を参照)

○部会長

事務局から、今後の市議会の審議を受け、大幅な修正等が必要となる状況でない場合、次回、第6回検討部会については、各委員へ持ちまわる型式での開催としたいとの提案があった。これまでの議論で概ね意見は出尽くしており、素案にも反映できていると思う。

よって、今回提示のあった報告書(素案)については、おおむね原案をもって検討部会としては承してよろしいか。

なお、今後の市議会での意見や、県、国との協議過程で修正すべき事項が生じた場合、大幅な修正でない限りは、私の方で確認し事務局と調整することとし、次回、第6回検討部会の開催については持ちまわりの開催とすることです。ただし、大幅な修正を生じる場合は、検討部会を招集し議論する形とする。判断については、部会長に一任いただきたいがよろしいか。

○委員

それぞれ「異議なし」の発言。

○部会長

ありがとうございます。

それでは、報告書(素案)については、原案をもっておおむね承とし、微修正については部会長にて対応を確認することとする。

その上で、今後大幅な修正等が生じない限り、次回、第6回検討部会は事務局が各委員へ持ちまわる型式での開催としたい。

○事務局

御承認いただきありがとうございます。

今後、部会長と協議させていただき、第6回検討部会の開催について、あらためて委員の皆様

御案内させていただきます。

○部会長

以上で、第5回検討部会を終了する。

～以 上～